


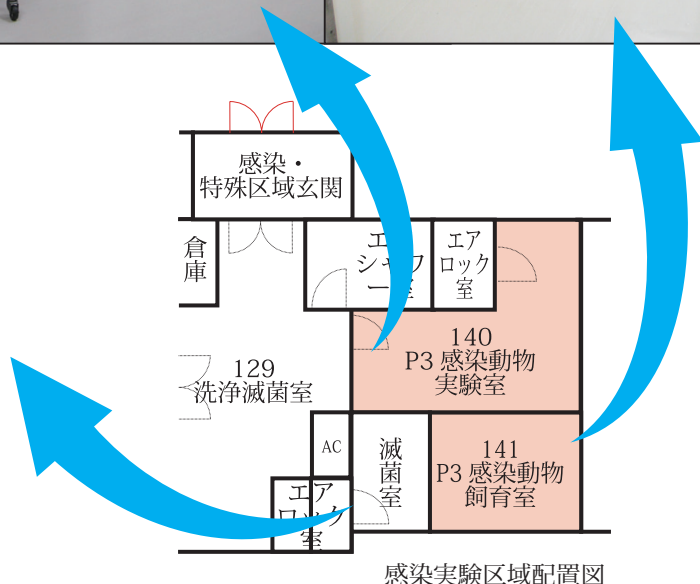


岡山大学自然生命科学研究支援センター
動物資源部門鹿田施設
Newsletter

2013
Oct. 4

岡山市北区鹿田町 2-5-1 TEL 086-235-7445 FAX 086-235-7433 e-mail: animal@md.okayama-u.ac.jp
ホームページ <http://www.cc.okayama-u.ac.jp/~animal/>

 **感染実験区域 (P3) の整備を行いました。**



感染実験区域 (P3) の改装を行いました。従来は実験室内で動物の飼育も行うような室構成となっていました。配置図のように飼育室と実験室を分けることにより、広く快適な環境で実験を行うことが可能になりました。また、感染動物実験室には新しい安全キャビネットを設置しました。是非ご利用ください。感染実験区域の利用を希望される方は担当者までお早めにお問い合わせください。

最近の動物資源部門の活動をご紹介します。



生物学実習の様子
初めてのマウス・ラットに悪戦苦闘? ←



平成25年度動物慰霊祭の様子
多くの関係者が参列しました。

9月19日～25日にかけて、医学部医学科1年生を対象に生物学実習を行いました。入学して初めて実験動物に触れる機会であり、多くの学生が意欲的に学習に取り組みました。

9月26日、医学部グラウンド南東、動物供養碑前において平成25年度動物慰霊祭が執り行われました。今年度も多くの参列者が研究の犠牲になった実験動物に冥福を祈り、献花しました。

新館4階、旧館3階に保管庫を設置しました。



前回発行のニュースレターにおいて、新館5階503実験室・旧館2階使用済みケージ置き場に処分動物用保管庫としてフリーザーを設置したことをご紹介しましたが、この度、新館4階廊下・旧館3階洗浄準備室にも同様の保管庫を設置しました。

従来、処分動物は実験後、利用者各自で1階のフリーザーまで運んで頂いておりましたが、各階に保管庫を設置することで館内動線の簡素化を図りました。処分動物は必ずビニール袋に入れ、口を固く縛ってから保管庫に入れて下さい。

適正な飼育管理・実験実施にご協力ください。

利用者研修等でもお願いしていますが、実験動物の適切な飼育管理の徹底をお願いします。

- 動物資源部門では、1ケージあたりの収容匹数をマウス5匹まで、ラット2匹までと規定しています。これを超える匹数で飼育することは動物福祉上問題がありますので、絶対にしないでください。
- 実験上、繁殖が必要な動物については、過密飼育にならないよう、多くても繁殖親は1ケージあたり♀2匹、♂1匹の計3匹程度で行ってください（マウスの場合）。また、1ケージ内に同時に2腹以上産ませるのは原則として避けてください。
- 動物の状態を少なくとも週に1度は確かめに来るようにしてください。※確かめるだけではダメです！新生仔の出生日の記録、健康状態のチェック等、必要な管理はこまめに行ってください。
- 実験に使用する予定のない動物の繁殖はしないでください。

上記について、守れない利用者につきましては、専任教員（施設獣医師）の判断で実験を一時停止、動物実験委員会より当該動物実験の中止が勧告される場合があります。くれぐれもご注意ください。「忙しいから」は理由になりません！

適正な動物実験が実施されるよう、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。